

# 齋田地区 地域福祉活動計画

## 1. 地区の概要

地区人口	2, 245人	民生委員児童委員	5人
65歳以上人口	774人	幼稚園・保育所 認定こども園	3か所
高齢化率	34.5%	小・中学校	1校
年少者(0～14歳)人口	252人	令和4年3月31日現在	
人口の増加	△4.9ポイント	鳴門市全体の数値	△6.8ポイント
65歳以上人口の増加	1.0ポイント		2.6ポイント
年少者人口の増加	△10.0ポイント		△15.3ポイント
高齢化率の増加	2.0ポイント		3.3ポイント

※ 数値は平成30年から令和4年までの間の増減を表しています。

## 2. 地区の現状と課題 (地域座談会で出た意見などをまとめています。)

- 地域活動について様々な場面で周知しているが、伝わらないことが多い。
- コロナ禍の中で、これまで行ってきた行事やイベントが出来なくなった。
- 集合住宅などで町内会に加入しない世帯があり、災害時などの対応に不安がある。
- 個人情報保護の意識が高くなり、高齢者の見守り等の支援に不安がある。
- 月1回開催している子ども食堂は、子どもだけでなく大人の居場所にもなっている。
- 小学校と自治振興会のつながりが強く、PTA会長が役員として参加している。
- コミュニティスクールや100円商店街など、子どもと地域の交流が盛んである。
- 年に1回、地区全体で三世代交流会が開催されている。
- 自治振興会、自主防災会、地区社協が協働して、地域全体での防災活動が出来ている。

### 3. 地区で取り組むこと

#### 若い世代への地域活動の周知と参加促進

1. 資金面での課題がクリアできれば子ども食堂の開催回数を増やし、多くの子どもや地域の方の居場所として機能させる。
2. 「ボランティアポイント」の仕組みを作り、地域活動に参加しやすい環境づくりを進める。
3. SNSを活用することで、情報発信だけでなく住民間相互がコミュニケーションを取りやすい環境を整えていく。

#### 高齢者世帯を見守る仕組みづくり

1. 地域の高齢者に、子ども食堂の「作る側」「食べる側」の両方で参加してもらい、社会参加の促進と独居高齢者宅への配食サービスによる見守り活動につなげていく。
2. 高齢者を対象としたスマホ教室を開催し、SNSを活用できる仕組みを作っていく。
3. 町内会の中の「班」など、10世帯程度までの小単位で日常の見守り活動を行う体制を作っていく。

#### 避難行動要支援者を見逃さないための活動

1. 現在の地域団体に加えて、地域内にある高校の協力を得ることで、幅広い災害対策が可能な体制づくりに取り組む。
2. 集合住宅など、地域団体に加入していない世帯への情報発信や支援体制づくりについて検討していく。
3. より多くの人の防災意識が高まるよう、子ども食堂との連携による炊き出し訓練を実施する。

